

# 特別活動 学習指導案

令和7年3月13日(木)5時間目(13:45~14:30)場所:6年教室  
飯綱町立三水小学校 6年生 28名【学級担任:土屋 早苗 先生】  
【T・T:鈴木 雅幸(長野県PTA連合会 事務局)】

## 1. 題材名「みんなで考えるキャリア教育」(1時間中第1時)

(学級活動(3)のア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成)

## 2. 本時の主眼

「キャリア教育」について考える場面で、「みんなで考えるキャリア教育」(県PTA新聞「しんしゅう」)のロールプレイを見て、自分の将来の夢や仕事について話し合ったり、「キャリアパスポート」の目的や使い方を知ったりすることを通して、明るい希望や目標をもって中学校へ進学しようとする気持ちを育てる。

## 3. 本時の留意点

・資料を3つの場面に分け、登場人物のイラストを用意して話し合いをイメージしやすいようにする。

## 4. 展開

	学習活動	予想される児童の反応	○支援 ☆評価
導入 10	<p>1. 「みんなで考えるキャリア教育」 学習問題 「キャリア教育」について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャリア」…仕事、職業、今までの経験、足あと</li> <li>・「キャリア教育」…自分なりの人生をつくっていく力を育むこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャリア」って仕事や今までの足あとのことなんだ。</li> <li>・「キャリアパスポート」は中学生や高校生になっても使うもので、その時の夢や目標をファイルしていくものなんだ。</li> <li>・「自分なりの人生」ってよくわからないな。</li> </ul>	<p>○「キャリア教育」や「キャリアパスポート」についてよくわからなくても中学生や高校生になるとわかることがあることを伝える。</p>
展開 25	<p>2. 「みんなで考えるキャリア教育」のロールプレイを見て、「キャリア教育」についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の確認をする。</li> <li>・新聞のデータと自分たちのデータを比較する。</li> <li>・小学生Bさんの「自分の好きが未来の自分の役に立つ」に注目する。</li> <li>・「キャリアパスポート」は、高校生まで持ち続け、将来の夢や進路に悩んだときに読み返して、自分自身を見つめなおす手助けにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と同じ小学生のBさんは話し合いに参加して「キャリア教育」についていろいろ考えているな。</li> <li>・社会科見学や修学旅行でいろいろな仕事や職業を調べたり、体験したりしたことが「キャリア教育」だったんだ。</li> <li>・うちの人は、「キャリア教育」をうけていなかったんだ。</li> <li>・うちの人の仕事について、くわしく聞いてみたくなった。</li> <li>・お手伝いもキャリア教育につながるとは知らなかった。</li> </ul>	<p>(思考・判断) ☆意識の違いで身の回りのことが「キャリア教育」につながることを自分の経験と重ねて考えることができているか。 ○「キャリアパスポート」には、将来の自分がつながっていることを伝える。</p>
まとめ 10	<p>3. これから中学生になったら、どのようにキャリア教育に取り組んでいくかをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人に与えられる人生ではなく、自分なりの人生を自分でつくってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生になったら勉強が難しくなりそうだし、悩みも増えそうだけど、好きなことを見つけてとことんやってみたい。</li> <li>・悩んだときに「キャリアパスポート」を見て、将来の自分を考えたい。</li> </ul>	<p>(関心・意欲・態度) ☆「キャリア教育」を意識した中学校生活を送りたいという気持ちをまとめることができたか。</p>